

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回春日部市総合教育会議
開催日時	令和4年7月14日(木) 午後3時30分 開会 午後4時50分 閉会
開催場所	第2委員会室
議長(委員長・会長)の職氏名	-
出席者及び欠席者の職氏名及び人数	別添の名簿のとおり
事務局職員 の職氏名	政策課 企画調整担当主幹 染谷 学 政策課 企画調整担当主事 土居 昌弥
会議事項、議題 及び説明者	1 開会 2 市長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 協議・調整事項 (1) 未来を担う子どもたちの学力向上について(意見交換) 説明者: 総合政策部次長、学校教育部次長、 学務指導担当次長、社会教育部次長 5 事務連絡 6 閉会
会議資料	・令和4年度第1回春日部市総合教育会議 次第
会議録の確定	令和4年8月22日

会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	<p>【1 開会】</p> <p>【2 市長あいさつ】</p> <p>【3 教育長あいさつ】</p> <p>【4 協議・調整事項】</p>
市 長	<p>(1) 未来を担う子どもたちの学力向上について（意見交換）</p> <p>まず初めに、①学力学習状況調査の結果とその分析について、事務局から説明をお願いします。</p>
説明者	<p>《学力学習状況調査の結果とその分析について説明》</p>
市 長	<p>テーマについて、委員の皆様から順番にご意見をいただければと思います。</p>
委 員	<p>学力というものは、学校が存在する限りは恒久的な課題だと考えます。各学校の授業を見させていただく中で、どこの学校の先生方も非常に教材研究が素晴らしいと思います。さらに、授業に取り組む子どもたちの姿を見ると、子どもたちと先生の信頼関係が感じられ、素晴らしい学級経営がなされていることが分かります。</p> <p>学習効果をいかに上げるかについて、様々な要因が考えられますが、やはり、学校と地域が一体となっこそ、学習効果が上がるものと考えております。</p> <p>それから、各学校で小学校から英語の授業に取り組んでいますが、これらは非常に効果があると考えます。学力学習状況調査の結果も大事なことです。それ以上に、各先生方そして子どもたちも、長期的な視点をもって努力をしていると感じています。</p>
委 員	<p>学習状況調査の結果を拝見して、家庭学習の有用性を保護者としても大変実感しております。先生方は限られた授業時間の中で、熱心に取り組みをされていらっしゃるかと思いますが、やはり授業プラス自宅に帰ってからの学習が、力を伸ばすポイントになると考えております。その中で、タブレットの導入により、保護者も子どもに学習のアドバイスをするのが難しい時代になっていると思いま</p>

<p>説明者</p>	<p>す。そこで、自宅での学習の進め方について、保護者、家庭への情報共有等が必要だと感じました。</p> <p>また、令和4年度は英語教育に重きを置いて進めるとのことですが、指導課における英語学習に関する取り組みの状況と、課題について伺います。</p> <p>英語の学力向上という視点で、様々な要因がありますが、昨年度の県学力調査を分析したところ、概ねどの学校でも基本的な知識が身につけていることが分かります。ただし、記述式で回答することにつきましては、正答率が低く、また無回答率の割合が高くなることが分かっております。そこから、複数の領域を統合して表現することが苦手であるという課題が見えておりますので、英語の教員とその課題を共有して、どのように複数の領域を統合して自分自身を表現させるかという点について、一緒に研究して参りたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>どれだけ成長できるかであり、点数だけではないと思います。</p> <p>点数をつける意味をもう一度確認し、子どもたちの個性を伸ばすということを、理解していくのが大事なのではないでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>色々とすばらしい実績を残している子どもたちがいますが、そういう子どもたちがすべて学習面でも同じ結果かと言えば、違います。</p> <p>また、全国的に、高い点数を取っているような地域については、その家庭環境や学習環境が整っていると言えらと思います。核家族でなく、家に帰ればおじいちゃん・おばあちゃんがいて、机に向かうための、目がある。</p> <p>具体的には石川県などですが、それと併せて、塾に行かせるとの考えが多い気がします。上位の県は1,000人当たり、3.5から3.9件の塾があるそうです。埼玉県ですと1,000人に対して4.3件の学習塾があるとされています。</p> <p>学校でやるべきことについては、春日部はしっかりやっていると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>三郷市は、日本一、読書に取り組むといったプロジェクトをやっています。乳幼児から高齢者に至るまで、全市民が対象なのですが、そういう取組を、市を挙げてやっていて、そういった環境があることが、少しは学力に影響があるかと思えます。</p> <p>算数の計算問題にしても、文章を読み解く必要があります。あとは、英語も単語とか文法は暗記すれば良いけれども、最終的には読解力がないと駄目です。</p>

委員	<p>おっしゃることは、納得できます。 それと、体を鍛えることでしょう。そうすれば、勉強する力もついてくる。</p>
市長	<p>この件について教育長、お願いします。</p>
教育長	<p>埼玉県学習状況調査のねらいがどこにあるかという、小学校4年生から中学校3年生まで6年間継続して、個人を追いかけることで、どれだけ自分が伸びたかをあらわしています。</p> <p>埼玉県の方では、小学校4年から中学校3年まで18段階の学習レベルを設定しています。その伸びを見る限りは、春日部の子どもたちは、ほぼ埼玉県と同じ伸びをしています。</p> <p>それから、小学校の子どもたちはほぼ平均の順位がついていますが、差がついたのは最終的に中学校3年生です。これを私なりに分析したところ、自学自習ができたらいいのではないかと思います。</p> <p>おそらく、中学校3年生ぐらいになると通塾率は7割ぐらいですが、学校に行っているときは部活で忙しく、帰ってきたら塾です。子どもたちの生活は大変忙しいですけど、塾は受け身です。</p> <p>そのため、自分で計画を立てて自分で課題を見つけて勉強する習慣がついていません。先ほど、石川県の話がありましたけど、秋田とか福井とか、三世代同居しているところは帰ってくると、おじいちゃん・おばあちゃんがいたりして、家庭学習をしっかりと、家に帰って自分の力で勉強するという、そういう習慣がついています。私はここを何とかしたいと思っています。</p> <p>先ほど話がありましたけど、計算問題であっても主語と述語の関係が正しく読み取れるかどうかということです。これが英語になるともってできなくなってしまう。</p> <p>ですから、日本語でこうなのですから、算数・数学・理科・社会等、今求められているのは、資料をどう読み取るか。グラフとか図だとか、地図だとか、どう読み取るかを、学校では大事にしながら授業を進めているのですが、ペーパーテストで出てきたときに、それをアウトプットする力がなかなか足りません。</p> <p>こういう問題は、一つは慣れさせることだと。もう一つは、しっかりと自分で計画を立てて課題を見つけて勉強する習慣をつけることが、これから子どもたちの学力が上がっていくことに繋がると思っています。</p> <p>また、学校では、なぜそうなるのか、どうしてそう考えたのか、あなたはどう思うのかということ議論するような場を、たくさん</p>

	<p>入れています。</p> <p>検査問題が解ければ良いのではなくて、学力を支えるには、知徳体のバランスが取れ、体力も、豊かな心も大事です。</p> <p>そこに力を入れて一生懸命やっている学校がありまして、その子どもたちの生き生きとした姿を見ると、誇れる春日部の子どもたちだなと思っています。</p> <p>この資料にはないですが、学校は楽しいかというアンケートがあります。春日部の子どもたちが、学校が楽しい・クラスが楽しいという割合は、県平均よりもはるかに高いです。私はこれを誇りに思っています。</p> <p>あとは、どうしたら子どもたちに心の力をつけていくか、ということについても、学校・家庭・地域で連携して、策を練って取り組んでいきたいと思っています。</p>
市 長	<p>②家庭・地域との連携について説明をお願いします。</p>
説明者	<p>《家庭・地域との連携について説明》</p>
市 長	<p>こちらの件につきましてご意見・ご質問をよろしくお願ひいたします。</p>
委 員	<p>ゲーム、スマホの使用時間と、学力との関係の数字は興味深いです。</p> <p>この飯沼中学校区のチャレンジというのは、すごくいいなと感じました。無理のない範囲でできるのかなというところと、学校プラス、その地域で、みんなでやっいてこうとして発信しているところが、すごくいいなと思いました。</p> <p>家庭でも時間を決めてお子さんとお約束してくださいね、としても、なかなか守れません。</p> <p>でも、大々的にその地域を巻き込んで、共同宣言という形でチャレンジをしてくると、その期間だけでも、家庭でもやらなくてはいけないというような認識が生まれてくると思います。</p> <p>これを重ねていくことで、子どもたちも、時間を制限した生活を実感できるようになり、その時間を読書や自主学習に使う習慣となったり、普段の生活でもそうした時間を決める自制心となったりとか、大変いい取組だと感じました。</p> <p>ぜひ、こういった取組を、全市に広げていければ良いかと感じました。</p>
委 員	<p>最近夕方まで明るい時間も多いのですが、子どもたちが外で遊</p>

	<p>んでいる風景というのが、あまり見かけなくなっているような気がします。</p> <p>みんな子どもたちは塾で忙しいのだと思いますけれども、これが大人になるにつれて、どういった影響が出るのか、個人的には心配しています。</p> <p>だから、その辺りを学校の方で、適切な指導について検討をしていただきたいです。</p>
<p>委員</p>	<p>子どもたちの視力は、どうなっていますか。</p>
<p>説明者</p>	<p>視力については、数値を持ち合わせていません。</p>
<p>委員</p>	<p>小さなスマホの画面を何時間も見ているのは、肉体的な弊害がないか心配です。</p> <p>市全体として、我が家の約束というようなことを、共同宣言をしてはどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>飯沼中学校のチャレンジについては、保護者から感想等は出ているのでしょうか。</p>
<p>説明者</p>	<p>川辺小の共同宣言につきましては、地域を巻き込んでの取組がすばらしいとの意見をいただいています。</p> <p>飯沼中学校のチャレンジにつきましては、保護者のご意見はこれからいただくところです。</p>
<p>市長</p>	<p>分かりやすいのは、大切だと思います。</p> <p>なおかつ、通常であれば、時間が最初から記載された紙を配られると思うのですが、そうではなくて自分たちで決めるのが良いです。</p> <p>これは、評判が良さそうなので、少し学校に情報を聞いていただいて、広げて行けたらと考えます。</p> <p>では、この件について教育長、お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>先ほどの川辺小の共同宣言は、用紙の下に複数の組織名が書いてあります。これはそもそも、川辺小学校保健委員会からスタートしたものなのです。</p> <p>大体やっているのは、学校の例えば身体的な発達状況はこうですとか、朝食の欠食率がこうですとか、学習のこととか色々なことでして、その中で、やはりスマホのことが出てきました。それを学校運営協議会で大きく取り上げたところ、協議会の中にいる地域の自治会長さんとか色々な人が、それはすばらしいということになりま</p>

	<p>した。</p> <p>さらに、PTAといった組織等を巻き込んで進めていくところに、意義があるのかなと思います。つまりトップダウンではなくて、初めから数字が書いてあるでもない。自分で、親子で、相談して決める。</p> <p>この点を抜きにして前に進めないと思いますので、広げられたらと考えています。</p> <p>それから、要するに今の子は、外遊びをしないでゲームや室内にこもってという、そういうことなのだと思います。</p> <p>私が学校にいたときに、授業中眠そうにしている子どもがいたので、突き詰めると夜中までゲームやっているそうで、三者面談時によく話を聞きました。</p> <p>ですからここはやはり、学校だよりの中に、この日はアウトメディアウィークですとしたり、南中学校が、テスト期間なので皆さんもこうしましょうといった取組を実施しているので、こういったことを何か前に進められたらいいと思っています。</p> <p>今月の学校だよりで、各学校ではアウトメディアやゲームの話が出ています。なぜ7月号の学校だよりに校長先生がこんな企画をするかと言うと、夏休みを迎えるにあたって心配なのです。</p> <p>家庭に戻すと、またどうなってしまうのだろうかという思いが、表れていましたので、ぜひ委員さんからあったことを、例えば市PTA連合会とか、何か連携しながら進めたいです。</p> <p>せっかく総合教育会議の場で、意見がいただけたということはあるありがたいことなので、教育委員会のトップダウンということではなくて、この様に何か吸い上げながら、進めていけるといいかなと思います。これは宿題にさせてもらい、指導課の方で、前に進めていただけるように注意していただきたいと思います。</p>
市 長	<p>これは、広報に載せましょう。そうすると、地域の人たちも読むことができるので。</p> <p>ありがとうございました。それでは、これにつきましては以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、③不登校について、説明をお願いします。</p>
説明者	<p>《不登校について説明》</p>
市 長	<p>重いテーマですが、この表を見ていただくと一目瞭然で、大変な右肩上がりでございます。</p> <p>新型コロナですとか、色々な問題もあったのでしようけれども、深刻化してきていると思います。</p>

	<p>もちろん、春日部市だけではないですけれども、深刻化している中で、教育委員の皆様から、ご意見とかアドバイスをいただければありがたいなと思っております。</p> <p>では、こちらの件につきましてご意見・ご質問をよろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>どうしてこうになってしまうのか考えるのですが、実際、一人っ子が多いとか、そういう家族構成のデータはあるのでしょうか。</p>
<p>説明者</p>	<p>そうしたデータはありません。</p>
<p>委員</p>	<p>これについては、何か寂しいのかなとか、色々と事情があると思いますので、私はこの辺について、本当に計り知れないです。</p> <p>学校の問題だけではないものもあると思いますので、詳しい事情を少し調べていただけたらと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>このところ増えているとのことですが、今のご意見をいただいて、その原因という点はいかがでしょう。</p>
<p>説明者</p>	<p>調査項目ということで申し上げます。</p> <p>要因として考えられるものは、多岐に渡るところがございます。</p> <p>一つは、本人に関わる状況として、生活リズムの乱れ。自身の遊びや非行、また、無気力、不安、こういったものが、項目としては挙げられております。</p> <p>その他に、家庭に関わる状況と、学校に関わる状況として、もう少し申し上げますと、家庭の中では、家庭内の不和、親子の関わり方、また、生活環境の急激な変化、こういったものが要因として挙げられております。</p> <p>最後に、学校に関わる状況として、こちらも多岐に渡りますが、例えば、学業の不振や、進路に関わる不安、入学・転入学、進級時などの不適合や、ほかにもございますがこういった要因が挙げられております。</p>
<p>委員</p>	<p>裏付けていいものかどうかよく分からないですし、なかなかすぐには解決できないと思いますけども、何らかの解決策があると思います。</p> <p>これは本当に、春日部市だけでなく、本当に大きな問題になっていると思うのです。</p> <p>説明の中で、学習不適合や学校不適合、いわゆる友人関係もあつたり、色々な要素がある中で、以前は、不登校等について学校内で</p>

委員	<p>話し合ったようなこともありましたが、しかし今はすごく難しいです。</p> <p>それから、市の教育相談に通ってくる保護者の方でも、単に自分の子が学校に行かなくて、との理由で来る方や、それから家庭内のことであるとか、さまざまなことがあると思います。</p> <p>それでも、小学校のときは、比較的、担任の先生と校長先生や教頭先生と家庭訪問等を行い、比較的解決できるものが多いでしょう。</p> <p>しかし、中学生になるとそうはいかなくなってしまう。先生が来ると、余計に難しくなる感じもあります。難しいなと言うのが、実情です。</p> <p>何が原因なのか、お話し合いをしていただくとしか言いようがないですね。難しいです。</p> <p>難しい問題で、やはり今、お伺いしたように不登校の原因は本当に、一人ひとり違います。</p> <p>他の人からすると、何でもないようなことでも、本人にしてみれば、学校に行けなくなる程という場合もあると思います。</p> <p>私が子どもを育てているときに、もし自分の子どもが学校に行きたくないと言ったらどうしようと考えたことがありまして、その中で何か理由を聞いて、もし本人が言っていることが、親として納得できるのであれば、無理に行かせる必要はなくて、家庭が守るべき場所でありたいと思っていました。</p> <p>家庭で、子どもを全力で守ろうと思ったことがありました。ですので、不登校の原因として家庭内不和とか親子関係というのが出てくると、非常に何か辛い、子どもにとっても辛い場面ではないかと思えます。</p> <p>実際に不登校になってしまい、各相談機関があつたり、フリースクールがあると思うのですが、そのまま自立することがやはりできなくて、引きこもったままになってしまったとき、18歳に達して、その後、何か頼れる場所が用意されていないような気がするので、そこが保護者としても、不安要素です。</p> <p>自分の子が不登校になってしまった場合に、将来に対する不安というの、ものすごく大きいのではないかなと感じました。</p> <p>そのため、学校でやはり、通おう・復帰する、と言うよりも、何か自分の居場所であつたり、自分が何か興味あることに向けて歩み出すような、そういうような形であつたり、方向を示すような、情報をいっぱい与えるというか、示してあげたり、あとは不登校であつたけれども、これがきっかけで、自分が立ち直れたという経験談だったり、そういう話を聞く機会がたくさんあれば、少しは良いほ</p>
----	--

<p>委員</p>	<p>うに作用するかと感じます。</p> <p>春日部市では適応指導教室として、「そよかぜ」、「すくすく」がありますが、通塾してくる子どもたちはどの辺の地域から通っていますか。</p>
<p>説明者</p>	<p>大沼中学校にある「そよかぜ」ですと、概ね大沼中学校周辺の学校が多いです。</p>
<p>委員</p>	<p>こういったものを、移動でも巡回でもしてあげる、というのも一つの手法だと思うのです。</p>
<p>市長</p>	<p>確認ですが、体育祭で中学校を訪問した際に聞いたのですが、教育相談センターは、もう学校に行けなくなってしまった子について、その最終的な受け皿として存在していると。</p> <p>一方、生徒が授業を受けられない、その段階では、その学校の中で何かその対応する場所があって、というような話がありまして、そういうのは、方式的に各学校で取り組んでいるのですか。</p>
<p>説明者</p>	<p>登校はできるけれども教室に入り辛い等、子どもによって状況は変わっていますので、学校にある相談室、又は保健室、そちらの方で相談員や、養護教諭が対応している児童生徒は、一定程度おられます。</p>
<p>説明者</p>	<p>さわやか相談員というものが、県から補助をいただいて、全中学校で行われています。</p> <p>そもそも、昔、さわやか相談室がなく、不登校もそれほど叫ばれていないときは、保健室に話をよく聞いてくれる保健の先生が対応する状況もありました。</p> <p>そうした状況や、不登校も増えてきていることもあり、全中学校に、専門家であるさわやか相談員や地域相談員を派遣して、色々な悩みを聞いてもらうことをやっています。</p> <p>さらに、中学校のさわやか相談員は、場合によっては地域の小学校に行って、小学生の悩みを聞くこともやっているような状況です。</p>
<p>市長</p>	<p>多分、子どもは、よりどころを求めていくから、ここがよければちゃんと来てくれるし、そこからいかに戻せるかということなのでしょう。</p> <p>他にいかがですか。</p> <p>それでは、教育長どうですか。</p>

教育長	<p>不登校は、三つのキーワードとして、繋がり、居場所、社会的自立だと思います。</p> <p>ここまでの話の中にあつたように、段階が色々あります。</p> <p>全くの引きこもり状態にある子。</p> <p>家から出られるけれども教室には入れなくて、外部の色々な機関になら行ける子。</p> <p>フリースクールとか、民間の教育室であれば行ける子。</p> <p>その学校へは行けるけれども、教室に入れない子、とか。</p> <p>つまり、こういうときに大事なことは、今は居場所だと思うのです。</p> <p>その子にとって、何か救われる場所があるということがまず大事。それから、学校は、必ず繋がりを作っておくこと。いつも君のことを心配しているというメッセージを、子どもや保護者に送り続けること、繋がりを大切にすることです。</p> <p>それから、実を言うと国の方でも、色々不登校の支援のあり方を変えてきています。</p> <p>令和元年10月の文科省からの通知で、不登校児童生徒の支援のあり方についてというものがあまして、ここで大きな変更点があります。</p> <p>それまでは、力を注ぐこととして、不登校から学校復帰を何とか目指そうというものでした。</p> <p>今は、逆にそうすることによって教員もストレスとなりますし、子どもも親もストレスになってしまうのです。</p> <p>そのため、今は、来られないのであれば来られなくてもいいよ、決して不登校は悪ではないよ、そういう選択肢もだからあるのだよ、ただ、繋がりだとか居場所がどこかにあるということを重視します。</p> <p>そして、この文科省の通知の中にある、一番大事な変わった点が、学校復帰を目指すのではなくて、社会的な自立に向けた支援をしましょう、ということです。</p> <p>だから、学校や教室には来られなくとも、自分の将来をしっかりと見つめさせて、進路選択だとか、色々なことについて、しっかりと情報提供したり、道筋をつけてあげることに努力をしています。</p> <p>今は、芸能人やスポーツ選手が、実は不登校だったけどこうやって頑張っている、といったことも知りやすい。</p> <p>ただ、昔の時代と変わってきているのは、乗り越える力がなくなってきました。きっかけが、友達関係にあるのか、先生にあるのか、親にあるのか、どこか分からないですけど、それを乗り越える力も不足しています。</p> <p>それとやはり、今は子どももすごく人間関係に疲れています。</p>
-----	---

	<p>親にものすごく気を遣っている子は、だから学校に行くのだと思います。学校に行って、友達に会うことが大切。勉強は楽しくないけど、友達と会っていると、給食を食べていると楽しい。</p> <p>やはり、そういう子を救っていかなければならない。それが学校の役目だと思っています。</p> <p>社会の中でも、大人の不登校と言いますか、会社の登校拒否の様になります。</p> <p>その縮図かなと思いますけれども、だから不登校は決して悪ではない。</p> <p>大切なことは、繋がりを保つこと、居場所を作ること、社会的自立に対する支援を行うことであり、それをしっかりやっていけば、どこかで覚醒するときもあるかもしれません。</p> <p>小学校就学時は行けなかったけれども、環境が変わって、あのときの先生の一言で、頑張りますとなるかもしれない。</p> <p>そういう学校でありたいと思っていますし、そういうことを先生方にもお願いしたいし、もちろん家庭の協力がなければ駄目なので、不登校のシンポジウムを毎年やっています。</p> <p>残念ながら、新型コロナの影響でオンラインであったり、できなかった年もありますが、今年も開催する予定です。機会があれば、ぜひ皆さんにもご視察いただけたらと思います。</p> <p>市 長</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今日は、大変有意義な話ができ、教育長にまとめていただいて、我々も諸問題に取り組んで参りたいと思いますので、皆さんもぜひご協力よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは以上で次第の協議調整事項に関する意見交換は終了させていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p> <p>事務局</p> <p>【5 事務連絡】</p> <p>次回、第2回の開催時期につきましては、10月の定例教育委員会に合わせまして、開催をさせていただく予定となっております。</p> <p>【6 閉会】</p>
--	---

令和4年度第1回春日部市総合教育会議 名簿

【構成員】

No.	役職	氏名	出欠
1	市長	伊々 加 ^レ ヒロ	出
		岩谷 一弘	
2	教育長	カタ トル	出
		鎌田 亨	
3	教育長職務代理者	ミズマ アキミ	出
		水沼 章文	
4	教育委員	カモリ リョウイ	出
		金森 良泰	
5	教育委員	カタ シンジ	欠
		岡田 新司	
6	教育委員	アキマ サエ	出
		秋山 早苗	

【執行部】

No.	役職	氏名	出欠
1	総合政策部長	ヒュウガ マコト	出
		日向 誠	
2	総合政策部次長	ノモト ノボル	出
		野本 昇	
3	学校教育部長	ナカジマ タク	出
		中島 拓	
4	学務指導担当部長	タノ トシユキ	出
		舘野 俊之	
5	社会教育部長	オカガ ヒロキ	出
		大川 裕之	
6	学校教育部次長	シハラ ナキ	出
		篠原 直樹	
7	学務指導担当次長	オノ アキヒコ	出
		大野 明彦	
8	社会教育部次長	カミヤ ツカサ	出
		神谷 司	